

平成 26 年度第 5 回名寄市子ども・子育て会議顛末

平成 26 年 12 月 26 日（金）18:00～
よろ一な中会議室

出席者 委員 10 人（3 人欠席）
事務局 健康福祉部長、こども未来課長、こども未来課主幹、社会福祉課長、保健センター所長、保健センター主幹、児童センター館長、こども未来係長、こども未来係主事

- 1 開会 会長の司会により開会
- 2 議題

議題（1）名寄市子ども・子育て支援事業計画（素案）について

最初に事務局より修正前・修正後について説明。

資料にないが 50 ページ体験学習に参加する支援の具体的な取り組みが追加された。

会 長 前回の会議の中で 8 月の素案書に利用状況や活動内容など資料的なものが挿入・追加された。更に軸など修正部分は赤字で説明をしていただいた。まず、前回の会議の中で審議する時間がとれず、持ち帰ってくださいと話した。今日の段階で差し込んだ資料についてあるいは文言・修正箇所について、検討するものがあつたら出していただきたい。特にないということによろしいか。

委員の意見 軸で 62 ページの（5）で子どもの貧困対策で、漢字とひらがなが混じっている。何か意味があるのか。

事務局の説明 子供の「供」はひらがなに直します。

委員の意見 50 ページの体験学習に参加する支援について子どもたちが「長期休暇」とあるが、学校現場では使わない。夏休み・冬休みのことを言っているのであれば、「長期休業」だと思う。

事務局の説明 「長期休業」に修正します。

会 長 文言の伝え方で何か所か気になるところがある。「子ども」だったり「こども」だったり、同じ文書の中で「子ども」と「子ども達」とある。文章表記上の句読点の付け方など。もし最終的に構成する時間があれば、気をつけてみてもらい、直してもらいたい。

副会長 62 ページの修正の「子供の貧困対策について」文章的にどういうことを言っているのか読んでいてもよくわからない。何となく変な文章に思え、意味がよくわからない。

会 長 文章が長いから読みにくいかもしれない。文を短くしたらわかりやすいかもしれない。

事務局の説明 副会長の言っていることはわかります。「第一に子供に視点を置いて、切れ目のない施策の実施等に配慮する」というふうに「」をつけたらわかりやすいかもしれない。

会 長 「」をつけたらよいと思う。合わせて、子供の「供」はひらがなです。

委員の意見 仕事で障がいを持った人とかかわっているが、37 ページの障がい児・家庭への支援の充実を見ると、乳幼児の文言は多くあるが、小・中・高が少し弱い気がするのが一つ気になる。きれいごとであるが、「可能な限り」という文言がすごい気になる。可能な限り、地域の保育・教育施設で障がい児を受け入れとあるが、可能じゃない人はどうするのかととらえられてしまうと思う。可能な限りから漏れた人がいるという現状を考えると、ここで住んでよかったという目標に反すると思う。

逆に可能な限りを謳わなければ、懸案事項としてそこを逆手にという部分がある。今の教育上ではインクルージョン・インクルーシブが謳われていて、できれば「可能な限り」を外していただきたい。

ここには書いていないが障がい児の放課後児童クラブの受け入れ態勢がなかなか整っていないということを伺っている。できれば盛り込んでいただければありがたい。実態上福祉のサービスでいくと、私達がやっている放課後デイサービスや児童発達が国の指針で後方支援としてでてしまうと思う。障がい児の第1サービスではなく、基本的には地域にある普通のところに戻していきましょうということなので、そういう文言も入れていただきたい。障がい児へのアンケートを特別にはとっていないと思うが、名寄を離れて暮らしている人がけっこういる実態と、早い子であれば小学生から名寄を離れて鷹栖とか宿舎にお子さんが入っている状況もある。状況を踏まえて名寄としてどうするかという方針を少しでも盛り込めば、ご家族は安心すると思う。

小・中・高を強化する文言をいれると助かると思う。強化するには障がいのほうで行っている、自立支援協議会との連携の文言も加味してくれるとありがたい。

会 長 この辺の修正は可能ですよね。「可能な限り」という言葉がないほうが、強い取り組みを進める。修正ができるところについては、今の意見に沿って考えていただきたい。他にないでしょうか。なければ前回配られた冊子部分については終わらせていただく。

郵送されたものから何ページかが追加されているが、今事務局から説明があったが、更にこのように修正を加えていきたいということで話があった。修正されたことに対して、意見があったらお願いします。

副会長 質問ですが 35 ページの保健衛生の向上で削除されているが、その理由は何ですか。

事務局の説明 削除と言うより、以前お配りした資料の 35 ページに予防接種の充実と保健衛生の向上と二つ掲載しており、一部内容が重複していたので、今回お手元にいつているものについては、感染症予防の推進ということで一本化させていただいたということで、無くしたということではないことをご理解いただきたい。

会 長 他にありませんか。無いようなので名寄市子ども・子育て支援事業計画についてはこれを基本計画でおさえるということでこの場を終わりたいと思う。

部 長 最後一言お礼のご挨拶をさせていただく。師走のお忙しい中お集まりしていただきどうもありがとうございます。委員の皆様にはこれまで7回にわたり公私とも大変お忙しい中、名寄市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、熱心なご議論、貴重なご意見・ご提言等をいただき本事業のご審議をいただいたことに対して厚くお礼申し上げます。本計画は名寄市の平成27年度から31年度までの5か年間の学校教育・保育・地域子ども子育て支援事業計画の必要なサービス量やその提供体制の確保など実効性のある計画として策定する事業計画であります。本日は事業計画の素案をご承認いただきま

したので、今後は笹原会長様から市長へ計画素案について答申を行っていただくこととなりますのでどうぞ、よろしくお願い申し上げます。本計画の基本理念であります「ここで育って、ここで育ててよかったと言える街を目指して」6つの基本目標に基づきまして、子ども・子育て支援や地域づくりを進めていきたいと考えています。委員の皆様には今後ともより一層のご支援協力をいただきますようお願いを申し上げまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

3. 閉会

18時34分 閉会

※会議録中で、P62（5）子供の貧困対策における、子供のどもの漢字の使用についてはひらがな表記との指摘がありましたが、引用している「子供の貧困対策に関する大綱」では漢字を使用しているため、漢字の表記といたします。